

※現在でも絶版になっていないものを中心にリストアップした。入手困難と思われるものには「★」を付けたが品切れ等については個別に確認が必要。電子書籍については除外した。また版元や訳者の違いにより異なる版が存在するものや、短篇集で収録作が違うものなどについては、入手しやすいものや代表的なものを適宜選んだうえで末尾に「*」をつけた。

凡例 ●国・地域名／＜著者名＞／『書名』／訳者／出版元／出版年

●ロシア・旧ソ連

<ニコライ・ゴーゴリ>

『外套・鼻』／平井肇／岩波文庫／2006*、『狂人日記 他二篇』／横田瑞穂／岩波文庫／1983

<ミハイル・ブルガーコフ>

『巨匠とマルガリータ』（上下）／水野忠生／岩波文庫／2015*、『悪魔物語・運命の卵』／水野忠夫／岩波文庫／2003、『犬の心臓』／水野忠夫／河出書房新社／2012

<イリヤ・エレンブルグ>

『トラストDE』／小笠原豊樹・三木卓／海苑社／1993

<エヴゲニイ・ザミャーチン>

『われら』／川端香男里／岩波文庫／1992

<アレクサンドル・チャヤノフ>

『農民ユートピア国旅行記』／和田春樹・和田あき子／晶文社／1984

<アレクサンドル・ベリャーエフ>

『ドゥエル教授の首』／田中隆／未知谷／2013*、『地球の狂った日』／福島正実／国土社／1995

<アレクサンドル・グリーン>

『輝く世界』／沼野充義／沖積舎／1993、『深紅の帆』／原卓也／フレア／1997、『波の上を駆ける女』／安井侑子／晶文社／1980、『消えた太陽』／沼野充義・岩本和久／国書刊行会／1999

<イワン・エフレーモフ>

『丑の刻』／飯田規和／早川書房／1980★

<アルカジイ&ボリス・ストルガツキー>

『収容所惑星』／深見弾／ハヤカワ文庫／1986★、『蟻塚の中のカブトムシ』／深見弾／ハヤカワ文庫／1990★、『波が風を消す』／深見弾／ハヤカワ文庫／1990★、『ストーカー』／深見弾／ハヤカワ文庫 2014、『月曜日は土曜日に始まる』／深見弾／群像社／1989、『トロイカ物語』／深見弾／群像社／1990、『願望機』／深見弾／群像社／1989、『みにくい白鳥』／中沢敦夫／群像社／1989、『そろそろ登れカタツムリ』／深見弾／群像社／1991、『モスクワ妄想倶楽部』／中沢敦夫／群像社／1993、『地獄から来た青年』／深見弾／群像社／1994、『滅びの都』／佐藤祥子／群像社ライブラリー／1997

<アレクサンドル・カバコフ>

『ノーリターン 1993・モスクワ』／小宮山俊平／新評論／1991、『ストーリーテラー』／小宮山俊平／新評論／1993

<ヴェニアミン・カヴェーリン>

『師匠たちと弟子たち』／沼野充義／月刊ペン社／1981★、『ヴェルリオーカ』／田辺佐保子／群像社／1991★

<ヴィクトル・ペレーヴィン>

『眠れ』／三浦晴美／群像社／1996、『虫の生活』／吉原深和子／群像社／1997、『寝台特急 黄色い矢』／中村唯史／群像社／2010、『宇宙飛行士 オモン・ラー』／小山慎二／群像社／2010、『チャパーエフと

空虚』／三浦岳／群像社／2007、『恐怖の兇』／中村唯史／角川書店／2006★、『ジェネレーション<P>』／東海晃久／河出書房新社／2014、『汝はTなり：トルストイ異聞』／東海晃久／河出書房新社／2014

<アナトーリー・キム>

『リス 長編おとぎ話』／有賀祐子／群像社／2000

<ユーリー・リュトヘウ>

『クジラの消えた日』／浅見昇吾／青山出版社／1998★

<ウラジーミル・ソローキン>

『愛』／亀山郁夫／国書刊行会／1999、『ロマン』／望月哲男／国書刊行会／1998★、『青い脂』／望月哲男・松下隆志／河出書房新社／2012、『親衛隊士の日』／松下隆志／河出書房新社／2013、『氷：氷三部作2』／松下隆志／河出書房新社／2015

<ワレーリヤ・ナールビコワ>

『ざわめきのささやき』／吉岡ゆき訳／群像社／1997

<ナリ・ポドリスキイ>

『猫の町』／津和田美佳／群像社／2009

<ドミトリー・グルホフスキー>

『METRO2033』（上下）／小賀明子／小学館／2010★

<セルゲイ・ルキヤネンコ>

『ナイト・ウォッチ』／法木綾子／バジリコ／2005★、『デイ・ウォッチ』／法木綾子／バジリコ／2007

●ポーランド

<スタニスワフ・レム>

『宇宙創世記ロボットの旅』／吉上昭三・村手 義治／ハヤカワ文庫／1976★、『ソラリスの陽のもとに』／飯田規和／ハヤカワ文庫／1979、『ソラリス』／沼野充義／ハヤカワ文庫／2015、『捜査』／深見弾／ハヤカワ文庫／1978★、『砂漠の惑星』／飯田規和／ハヤカワ文庫／2006、『完全な真空』／沼野充義他／国書刊行会／1989、『虚数』／沼野充義他／国書刊行会／1998、『高い城・文学エッセイ』／沼野充義・巽孝之・芝田文乃・加藤有子・井上暁子／国書刊行会／2004、『天の声・枯草熱』／沼野充義・吉上昭三・深見弾／国書刊行会／2015、『大失敗』／久山宏一／国書刊行会／2007、『短篇ベスト 10』／沼野充義・関口時正・久山宏一・芝田文乃／国書刊行会／2015、『泰平ヨンの航星日記』／深見弾・大野典宏／ハヤカワ文庫／2009、『泰平ヨンの未来学会議』／深見弾・大野典宏／ハヤカワ文庫／2015、『宇宙飛行士ピルクス物語（上下）』／深見弾／ハヤカワ文庫／2008★

<ヨアンナ・ルドニャンスカ>

『竜の年』／田村和子／未知谷／1999

<スワヴォーミル・ムロージェック>

『象』／長谷見一雄他／国書刊行会／1991、『所長』／芝田文乃／未知谷／2001、『鱒の涙』／芝田文乃／未知谷／2001

<レシェク・コワコフスキ>

『ライロニア国物語』／沼野充義・芝田文乃／国書刊行会／1995

<ステファン・グラビンスキ>

『動きの悪魔』／芝田文乃／国書刊行会／2015

●チェコ

<カレル・チャペック>

『山椒魚戦争』／栗栖継／岩波文庫／2003＊、『ロボット（R.U.R.）』／千野栄一／岩波文庫／1989、
『クラカチット』／田才益夫／楡出版／1992★、『マクロプロス事件』／田才益夫／八月舎／1998★
<ミハル・アイヴァス>

『黄金時代』／阿部賢一／河出書房新社／2014、『もうひとつの街』／阿部賢一／河出書房新社／2013
<ラジスラフ・フクス>

『火葬人』／阿部賢一／松籟社／2013

●チェコ・ハンガリー

<イヴァン・ヴィスコチル（チェコ） & カリンティ・フリジェシュ（ハンガリー） >
『そうはいつでも飛ぶのはやさしい』／千野栄一・岩崎悦子／国書刊行会／1992★

●ブルガリア

<リューベン・ディロフ>

『緑色の耳』／松永緑彌／恒文社／1997★

<パーヴェル・ヴェージノフ>

『消えたドロテア』／松永緑彌／恒文社／1997★

●ルーマニア

<ミルチャ・エリアーデ>

『令嬢クリスティナ』／住谷春也／作品社／1995★、『ムントゥリャサ通りで』／直野敦／法政大学出版局
／2003、『ホーニヒベルガー博士の秘密』／住谷春也・直野敦／福武文庫／1990★

●アルバニア

<イスマイル・カダレ>

『夢宮殿』／村上光彦／創元ライブラリ／1994、『死者の軍隊の将軍』／井浦伊知郎／松籟社／2009

●セルビア

<ミロラド・パヴィチ>

『ハザール事典—夢の狩人たちの物語』／工藤幸雄訳／創元ライブラリ／2015、『風の裏側』／青木純子／
東京創元社／1995、『帝都最後の恋』／三谷恵子／松籟社／2009、

<ゾラン・ジフコヴィッチ>

『ゾラン・ジフコヴィッチの不思議な物語』／山田順子／Kurodahan Press／2010

●ドイツ

<フランツ・カフカ>

『変身』／中井正文／角川書店／2007＊、『審判』／辻セイ／岩波文庫／1966＊、『城』／前田敬作／新
潮文庫／1971＊、『カフカ短篇集』／池内紀／岩波文庫／1987

<ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ>

『ファウスト』／高橋義孝訳／新潮文庫／1967

<グスタフ・マイリンク>

『ゴーレム』／今村孝／白水uブックス／2014

■アンソロジー

【SF系】

現代ソビエトSF短篇集（『宇宙翔けるもの』『竜座の暗黒星』『アトランティス創造』）／ハヤカワSFシリーズ★、『東欧SF傑作集』（上下）／創元SF文庫★、『ロシア・ソビエトSF傑作集』（上下）／創元SF文庫★、『異邦からの眺め』／ハヤカワ文庫★、『遙かな世界 果てしなき海』／ハヤカワ海外SFノヴェルズ★、『時間は待ってくれない』／河出書房新社

【幻想文学系】

『ロシア怪談集』／河出文庫★、『東欧怪談集』／河出文庫★、『現代ロシア幻想小説』／白水社★、『現代東欧幻想小説』／白水社★、『怪奇小説傑作集5（ドイツ・ロシア編）』／創元推理文庫、『怪奇文学大山脈』（1）～（3）／東京創元社

■叢書（入手困難なもの含む）

- ・ソビエトS・F選集（大光社）：『四つ足になった金融王』『ラドガ壊滅』『怪獣17P』等★
- ・妖精文庫（月刊ペン社）：『輝く世界』『師匠たちと弟子たち』等★
- ・世界幻想文学大系（国書刊行会）：『ロシア神秘小説集』★
- ・群像社ライブラリー（群像社）：『宇宙飛行士オモン・ラー』『虫の生活』『滅びの都』等

■入手しやすいDVD・BD

- ・「惑星ソラリス」／レム原作／タルコフスキー監督／2013年BD発売
- ・「ソラリス」／レム原作／ソダーバーグ監督／2014年特別編BD発売
- ・「ストーリー」／ストルガツキー原作／タルコフスキー監督（アルカジイ・ストルガツキーが原案段階で協力）／2015年にBD発売
- ・「日陽はしづかに発酵し…」／ストルガツキー原作（『世界終末十億年前』）／ソクーロフ監督／2010年DVD発売
- ・「サクリファイス」／タルコフスキー監督（アルカジイ・ストルガツキーが原案段階で協力）／2015年BD発売
- ・「プリズナー・オブ・パワー」／ストルガツキー原作（『収容所惑星』）／2013年DVD発売
- ・「ナイト・ウォッチ」／ルキヤネンコ原作／2012年ディレクターズカット版BD発売
- ・「デイ・ウォッチ」／ルキヤネンコ原作／2010年ディレクターズカット版BD発売（どこかに大野氏が出演）
- ・「オーガストウォーズ」／グルジア戦争を題材とした幻想的作品で巨大ロボットが印象的。2014年BD発売
- ・「チェコ怪奇骨董幻想箱 vol.2 リプスキーBOX」／オールドリッチ・リプスキー監督（チェコ）／「レモネード・ジョー 或いは、ホース・オペラ」「アデラ/ニック・カーター、プラハの対決」「カルパテ城の謎」の三作品を収録。ヤン・シュヴァンクマイエルが特殊効果を担当。

■最近公開された映画

- ・「 kongress 未来学会議」／レム原作／アリ・フォルマン監督／2013年製作（2015年日本公開）
- ・「神々のたそがれ」／ストルガツキー原作（『神様はつらい』）／2013年製作（2015年日本公開）／ボリス・ストルガツキーが脚本に全面協力。